

開成町読書推進条例が制定されました

教育民生常任委員会（委員長 山本研一）では、「図書環境の充実について」を所管事務調査項目として掲げ、開成町の図書環境の諸課題解決に向け調査してきました。調査においては、「読書」は子どもだけの計画や取組みに留めることなく、人づくりまちづくりの重要な役割を担うという考えを、乳幼児期から高齢期まで、理念として持ち続けることが必要であると結論付け、「読書推進活動理念条例」の制定に向け、検討を進めてきました。

条例案の検討に当たっては、幅広い市民の皆さんのご意見を参考にするため、教育委員会等との意見交換会を行い、また、2月1日から15日までの間でパブリックコメントを実施し、市民の皆さんから貴重なご意見もいただきました。

酒匂川の清流に恵まれた田園の緑あふれる開成町は、四季の営みの中で、先人たちにより、色とりどりの豊かな伝統や文化が創出され、美しい風土は脈々と継承されてきました。

ふるさとの伝統や文化を愛し守り、さらに発展させていくためには、市民自らが自由な感性を養い、豊かな人間性や社会性を育み、新たな歴史へとつなげる環境づくりが必要であり、その手段として読書の推進が有効なものです。

あらためて、子どもから大人まで、全ての市民にとって読書の大切さを明らかにし、本に親しむ環境づくりを進め、読書による人づくりやまちづくりの道しるべとなるように、この条例を制定します。

第1条【目的】 この条例は、市民の読書活動の推進に関し、基本理念を定めるとともに、開成町（以下「町」といいます。）の役割並びに市民、家庭、学校等（保育所、幼稚園、小学校及び中学校をいいます。以下同じです。）及び地域における取組を明らかにすることにより、市民一人ひとりの心豊かな生活及び活力ある社会の実現に資することを目的とします。

第2条【基本理念】 読書活動は、言葉を学び、知識を得て、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、時には心を癒し、人生をより深く生きる力を身に付ける上で大切なものであることから、市民一人ひとりが、いつでもどこでも自主的に読書活動を行うことができる環境を整備することに努め、豊かな心を育みよりよい人生を送るための読書活動を推進するものとします。

第3条【町の役割】

- 1 町は、前条に定める基本理念にのっとり、読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する役割を有します。
- 2 町は、前項の施策を実施するに当たっては、市民、家庭、学校等及び地域と連携を図り、一体となって読書活動の推進に努めます。
- 3 町は、町立図書施設を読書活動の拠点とし、蔵書の充実に努めるとともに、町立図書施設において、読書活動の普及及び啓発、読書活動を通じた交流の機会の提供等に努めます。

第4条【市民の取組】 市民は、日常生活の中で読書に親しみ、読書活動への参加を通じて、互いの交流に努めるものとします。

第5条【家庭における取組】 市民は、家庭において、家族で読書の楽しさを共有し、家族のコミュニケーションが深まるよう読書活動に努めるものとします。

第6条【学校等における取組】 学校等は、それぞれの学校等の特性及び子どもたちの発達段階に応じ、読書の楽しさを伝え、子どもたちが普段から本に親しみ、読書を楽しむ習慣の形成に努めるものとします。

第7条【地域における取組】 地域においては、学校等、町立図書施設その他の読書活動に関係する施設及びボランティア活動を行う団体と連携、かつ、協力をし、読書活動の推進に努めるものとします。

第8条【他の計画等との整合性の確保】 町が実施する読書活動の推進に関する施策並びに市民、家庭、学校等及び地域における読書活動に関する取組については、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）その他の法令に基づく読書活動に関する計画等との整合性の確保を図るものとします。

第9条【読書活動推進月間等】 読書活動に関する関心及び理解を深めるとともに、積極的に読書活動に取り組む意欲を高めるため、毎年10月を市民の読書活動推進月間とし、毎月1日を市民読書デーとします。

第10条【委任】 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定めるものとします。

附則 この条例は、令和5年4月1日から施行します。

開成町読書推進条例の制定にはこのような期待が込められています

令和5年3月定例会議にて、議員全員賛成で、開成町読書推進条例の制定が可決されました。町はこの条例に基づき、市民の読書に対する施策の推進を図ることになりますが、教育民生常任委員会でもまとめた読書推進条例は、町の役割だけでなく、市民、家庭、地域、学校等の取組も明らかにしています。

条例の制定により、行政だけでなく、町全体で読書が推進されるよう取り組むとともに、読書環境についても、整備やさらなる充実を目指すことを期待しています。

開成町議会ギカイだより



令和5年
4月30日発行

No.214

町立図書室・町立小中学校で勤務されている司書の皆さんにききました



文命中学校 司書 石田唯衣さん

①現在はネットや携帯端末でも手軽に本や記事が読め、紙の本を手にする機会が失われやすい時代でもあります。ただ、紙の本には語彙力や文章力が養われるだけでなく、本の重さや紙の質感、臭いなど、紙の本だからこそ五感を通して読み進める良さがあります。広告やアプリの通知に目移りすることもなく、著者の世界観、登場人物と自分を重ね合わせられる世界観に没頭できることが、紙の本の醍醐味ではないかと思えます。

②「限りある時間の使い方」（オリバー・バークマン著（高橋璃子訳）／かんき出版）80歳まで生きてと仮定して、人の一生はたったの4000週間。その時間をどのように過ごし、どう生きていくか、様々な面から考えていく一冊です。テクノロジーの発達により、生活はより便利に効率を求められるようになりました。ただそれが無自覚に人の時間を奪っていくこともあります。「タイパ（タイムパフォーマンス）」という言葉が流行っていますが、時に不便さや不自由さを選び、今、この瞬間をしっかり生き抜く。時間を効率的に使うことを頑張りすぎず、時に気の向くままの出会いに身を委ねる。本書はそんな「時間」に対する捉え方を見直すきっかけを与えてくれます。

③中学生におすすめしたい本は、「かがみの孤城」（辻村深月著／ポプラ社）という本です。書店員が「これは面白い」「おすすめしたい」と思った本を投票し、その中から受賞された『本屋大賞』2018年の受賞作品です。ファンタジー要素あり、青春要素あり、ミステリー要素もある1冊です。城に集められた主人公の中学1年生の少女「こころ」と、同じ境遇をもつ同年代の少年少女7人、そしてその周りにいる大人たちの複雑な人間関係が描写されるストーリーです。こころを閉ざした主人公が未来への扉を開き、明日への希望を胸に進む、そんな勇気を与えてくれます。



開成南中学校 司書 島村礼子さん

①装丁の美しい本は持っているだけでワクワクします。つい手に取り表紙をめくる。物語であっても図鑑であっても、その本の中には作った人の思いがこめられています。本が物語であれば登場人物に自分自身を重ねあわせることもあるでしょう。読んだ数だけ、今の自分以外の人生を旅することができると思うのでそれは人に自分ではない誰かの思いに寄り添う感性をあたえ、今まで気づけなかった新しい視点からの発想の転換をもたらすこともあります。アインシュタインは「あなたが絶対に知るべき唯一のものは、図書館の場所である。」といました。読書を通じ、子どもたちがどうお互いを思いやり、より豊かな未来を生きてほしいと願っています。

②「ブルッキーのひつじ」（M・B・ゴフスタイン著（谷川俊太郎訳）／ジー・シー・プレス）“だいたすきだすきかわいひつじ…”だれかを大切に思うことを、短くリズムカルな文と絵で心からの素直な気持ちを伝えるとても素敵な絵本です。この本と出会ったのは30年も前ですが、そのときの感動は今も忘れられません。

③「風の谷のナウシカ」（宮崎駿著／徳間書店）アニメ映画で有名ですが、これは原作の漫画です。映画とは違った結末になっています。高校生のときにふと立ち寄った本屋さんで見つけました。文命中学校図書室には全7巻そろっています。

④「華氏451度」（レイブラッドベリ著（伊藤典夫訳）／早川書房）本を持っていることや読書が禁じられた世界で、焚書（本を燃やすこと）を職業にする主人公の物語です。題名の華氏451度（およそ摂氏233度）とは紙が自然発火する温度。この本が発行された当時はテレビの登場で人々の生活は大きく様変わりしていました。インターネットの普及した現在ではもっと切実かもしれません。

- ①本の魅力はどのようなところですか？
- ②大切な一冊はありますか？
- ③これから読んでもらいたい本はありますか？



開成小学校 司書 渡辺仁子さん

①自分の好きなときに、好きなものをジャンルにとらわれず、自由に選び、楽しむことができる。再読したときには、以前とは違う感情や驚きが得られ、何度でも新たな発見があること。

②「十二国記」シリーズ（小野不由美著／新潮社（新潮文庫））

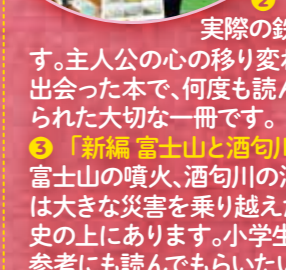
主人公たちは、悪意や様々な理不尽にさらされながらも、定められた運命や訪れる試練に「なぜ」と嘆き苦しみます。しかし、自分にできることをするしかない、と立ちあがり、懸命に生きて自分にできる最善を選び取ろうとします。私は辛いときや苦しいときに読み返して勇気もらっています。

③「よるにおぼけと」（みなほむ著／ミシマ社）

森や海のおこうには何があるか気になるけれど、最初の一步が踏み出せない。そんな不安を抱えた主人公におぼけはいつだって「大丈夫だよ。一緒にいるから」といいます。怖いことや不安でいっぱいなときも、このお話の「おぼけ」のように寄り添ってくれる「なにか」が自分にもあるかもしれない、と感ぜられるような素敵な本です。

④「黒紙の魔術師と白銀の龍」（鳥美山貴子著／講談社）

好きなものを好きでいることはとても難しいことだと思います。好きなことを友達にも知ってほしい、話したいという気持ちを、周囲の「からかい」で封じた主人公が、再び発信できるようになるまでを描いた本です。「好きなことにまっすぐで何が悪いんだ！」この叫びに心が震えました。



町立図書室 司書 浅田京子さん

①出会ったことのない人々や景色など未知の世界を自由に「体験」できることです。また、大人になって、ふと読み返したときに、あらためて心に深く響く本に出会えることも魅力のひとつです。

②「塩狩峠」（三浦綾子著／新潮社）

実際の鉄道事故の実話を題材とした物語です。主人公の心の移り変わりが丁寧に描かれています。中1で出会った本で、何度も読んで「自分ならどうするか」と考えさせられた大切な一冊です。

③「新編 富士山と酒匂川」（足柄の歴史再発見クラブ）

富士山の噴火、酒匂川の洪水、関東大震災など、この足柄地域は大きな災害を乗り越えた先人たちの復興の努力や知恵の歴史の上にあります。小学生対象にまとめられた本です。防災の参考にも読んでもらいたい本です。

「町民に知らせたい」議員11名が予算をチェック

令和5年度予算 / 議会はこのように見る

注目

新年度、議員全員が注目の事業はこれだ!

令和5年度一般会計予算(69億5900万円)は議員全員賛成で可決された。賛成の中にも、その判断に至った議員の思いがある。新年度の注目事業を中心に、各議員が町民に向けて説明する!!

期待通りの成果があがるか、しっかり検証!!

吉田敏郎 議長
- 駅前通り線周辺整備
- こども医療費助成
- 地球温暖化対策

下山千津子 議員
- 町民センター施設整備
- こども医療費助成
- 駅前通り線周辺整備

佐々木昇 議員
- ブランディング推進
- どんぐり会館管理運営
- 公園維持管理

武井正広 議員
- 駅前通り線周辺整備
- 子ども子育て支援
- 効率的な自治体経営

前田せつよ 議員
- 妊娠からの伴走型支援
- 町民センター施設整備
- 地球温暖化対策

本町では、先人たちの尽力によるまちづくりの中、人口が増え続け、活気ある町に発展してきた。これからも、計画的なまちづくりが重要である。遅々と進まぬ駅前通り線整備事業の推進、未来を担う人を育てる取組み、そして、脱炭素社会の実現に向けた取組み等、期待を込め、しっかりと注視していく。

町民同士が助け合い支え合う活動を基本理念に共助を活かせる拠点の整備は意義深く、「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」を担う人材を健康に育成するためにこども医療費助成制度は重要である。また、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業は、更なる人口増加や企業誘致への大きなチャンスと考える。

本町のまちづくりは今、人口も増え続け順調に進んでいる。ブランディング推進事業そのひとつの要因として大きな役割を果たしていると考えられる。しかし、一方で県西地域外での本町の認知度はまだまだ低いという事実もある。これまでに積極的に戦略的なブランディング推進事業を期待したい。

駅前通り線周辺地区土地区画整理事業を着実に推進し駅周辺の利便性を向上させ、子育て支援を更に充実させることは、人口増加にもつながる。いつまでも持続可能な好循環のまちづくりを目指す必要がある。

妊娠から出産子育ての、切れ目ない伴走型の相談支援が重要である。そこで「こども」をキーワードに庁内の課を越えてシステム構築をすることで、連携による重層的な支援体制を期待し注視する。

星野洋一 議員
- 駅前通り線周辺整備
- LINE機能の拡充
- こども医療費助成

井上三史 議員
- 次期総合計画策定
- 地球温暖化対策
- 農地利用「地域計画」

山本研一 議員
- 骨格予算の考えは
- 災害対策推進
- 中学校の部活動

石田史行 議員
- こども医療費助成
- 町民センター施設整備
- 家庭用消火器購入助成

井上慎司 議員
- こども医療費助成
- 給食事業特別会計
- 子ども子育て支援策

湯川洋治 議員
- 駅前通り線周辺整備
- 町民センター施設整備
- こども医療費助成

都市機能強化の駅前通り線周辺土地区画整理事業は、予算9億3,280万5千円での用地の先行取得や建物移転補償の進展、こども医療費助成制度による経済的負担軽減による子育て環境充実に向けた注目を。また、LINE公式アカウント機能拡充のセグメント配信と防災行政無線の連携配信による利便性の向上に期待する。

令和5年度は将来を見据えた新しいまちづくりを示す第六次開成町総合計画策定に入る。注目する点は、どんなゼロカーボンシティを実現するのかを示す地球温暖化対策実行計画(区域施策編)である。もう一点は、高齢化や人口減少の本格化に備え、将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定に注目する。

町長が退任を表明し、次年度予算の政策的な判断ができにくい場合、経常的な経費を中心に必要最小限の骨格予算を計上するのが一般的。新しいリーダーが意欲をもって予算執行に当たるためにも、執行責任を取る次期リーダーが自分の政策を盛り込むなどして、改めて予算を検討する余地を与えなかったのはなぜか。

こども医療費助成の対象を18歳まで拡大し、所得制限を撤廃することは高く評価したい。生涯学習の拠点である町民センターは竣工36年が経過し、老朽化したエレベーターや空調設備等の改修工事により、利用者の利便性向上に期待する。家庭用消火器購入費用の助成制度が創設されることで、各世帯の出火被害の減少が期待される。

子どもの福祉増進に資するため医療費助成を18歳まで拡大したが、今後は予防医療にも注力すべき。給食費が値上げとなるが、給食の質を維持し免疫力向上に期待したい。出産から育児までの伴走型相談支援や子育ても家庭総合支援拠点の設置など、社会全体で子どもを育てる環境を整うことは、町の発展への大きな一助になると考える。

本町では計画的なまちづくりの成果として、人口が増加しており活力ある町となっている。しかしながら、今後は高齢化が進み人口増加率も下がってくと推察される。都市計画の総仕上げとして、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業を推進していくことで、さらなる人口増加や企業誘致が期待できる。

令和5年開成町議会 1月臨時会議案審議結果
提出: 1月20日
議案名: 工事請負変更契約の締結について(令和3年度支庁中学校大規模改修工事(債務))
審議結果: 可決
提出: 1月20日
議案名: 令和4年度開成町一般会計補正予算(第8号)
審議結果: 可決

令和5年開成町議会 3月8日3月定例会議案審議結果
提出: 3月8日
議案名: 開成町議会の個人情報の保護に関する条例を制定することについて
審議結果: 可決
提出: 3月8日
議案名: 開成町読書推進条例を制定することについて
審議結果: 可決

議案一覧表
提出: 1月20日 議員: 星野洋一, 井上三史, 山本研一, 石田史行, 井上慎司, 湯川洋治
提出: 3月9日 議員: 山下千津子, 佐々木昇, 武井正広, 前田せつよ, 星野洋一, 井上三史, 山本研一, 石田史行, 井上慎司, 湯川洋治

PICK UP!
こどもにかかる医療費の助成対象年齢を18歳まで拡大し、所得制限を撤廃する条例が可決されました。議員からは、町民に対し「18歳」までとしっかり周知をすること、また、10月から施行されることを早めることができないか、子育て施策の中で、なぜ「こども」の医療費18歳まで無償化を断念したのか質疑が相次ぎました。町からは、国、県の動向の中で、経済的負担の軽減を図り、こどもの福祉の増進に資することを目的として「開成町らしい子育て」の一環として判断をしたとの説明がありました。

令和5年開成町議会 3月17日3月定例会議案審議結果
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町一般会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町国民健康保険特別会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町介護保険事業特別会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町給食事業特別会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町水道事業会計予算
審議結果: 可決
提出: 3月17日
議案名: 令和5年度開成町下水道事業会計予算
審議結果: 可決

次の常任委員会が、所管事務調査報告を行いました。(調査機関: 令和4年10月から令和5年2月まで)

総務経済常任委員会(委員長 石田史行)
1 調査の件名 「ごみ処理に関わる諸課題について」
2 調査の目的
本町としてごみ処理に関わる諸課題は、ごみの広域処理の具体化など多岐にわたり、その他県内では可燃ごみを戸別収集している先進自治体もあり、議会の一般質問でも具体的に取らねられているため、委員会としては、自治会要望として地域から高齢者などを対象としたごみの戸別収集について要望が出されている現状も鑑み、対象者を限定したごみの戸別収集の可能性について調査研究を行うこととしました。
3 検討結果のまとめ
●現状として町社協のサポートを受けながら、一部の自治会において共助グループがごみ出しが困難な世帯に対する支援を実施していることは理解するが、社協と自治会任せにしている印象がある。もっと町が前面に出るかたちで、全地区統一のごみ出しが困難な世帯に対する支援策を検討すべきである。
●寝たきり高齢者や独居高齢者等に対象者を限定して、ごみの戸別収集を実施している寒川町の取組みは非常に参考になった。まずは当町も寝たきり高齢者世帯がどのくらいいるのかを把握したうえで、ごみ出しへのニーズを正確に把握することが必要である。
●ごみの戸別収集について、今後のごみ処理広域化の進捗状況により調査研究するというのが町の考えのようだが、そもそも全世帯を対象として実施する町民ニーズはむしろ低いと考える。むしろ寒川町のようにごみ出しについて、真に支援が必要な町民を対象に戸別収集の具体的な方法を模索することが現実的である。

教育民生常任委員会(委員長 山本研一)
1 調査の件名 「図書環境の充実について」
2 調査の目的
開成町の図書環境の諸課題解決に向け、先進事例を研究し、更なる図書環境の充実を図るため調査を行いました。
3 検討結果のまとめ
課題を抽出し、方策を検討した結果、あらためて、子どもから大人まで、全ての町民が読書の大切さを明らかにし、本に親しむ環境づくりを進め、読書による人づくりやまちづくりの道標となる10の条文からなる条例案の策定に取り組みをすることとしました。(開成町読書推進条例については、1ページに条文案等を掲載しています。)
開成町読書推進条例の制定により、町民の読書に対する推進を図るとともに、読書環境のさらなる充実を目指して欲しいと願っています。

しもやま ちづこ
下山 千津子

人生100年時代に向けて問う

健康 福祉



- あじさい講座は、町民の生涯学習の一環として39種のメニューが用意されている。一層拡大させるための今後の課題は何か。
- より多くの利用がなされるよう、さまざまな機会を捉えて周知・PRを図り、講座メニューの充実を図ることも大切だと考えている。
- 町民同士が助け合い支え合うのに必要な公益活動を推進するための課題点や問題点は何か。
- 公益活動が「求められているか」、受益の機会が「開かれているか」等といった点が大切であると考えている。

いのうえ みつし
井上 三史

本町をスポーツを通して
元気にする策を問う

健康 福祉



- 幕別町と開成町のアジサイまつりでの物産品の販売交流があるが、全国パークゴルフアジサイカップ大会に出前販売は可能か。
- 出展される各団体の方に可能かどうか調整させていただきたい。
- パークゴルフの普及促進を継続するには、どんなことが考えられるか。
- 普及促進へのきっかけづくりに、パークゴルフの体験会に加えて小学3年生以上の親子大会、家族対抗などの大会が考えられる。
- 行政サイド、水辺、町の協会三者で協議する場の考えは。
- そういった協議をする場を設けてもいいのではないか。

いのうえ しんじ
井上 慎司

1 町立園・学校における今後の感染症対策を問う
2 文命中学校における制服のあり方を問う
3 府川町政3期12年の総括を問う

子育て 教育



- 新年度からコロナ前の学校生活に戻していくという強い決意は。
- 少しずつ少しずつ、コロナから脱する仕掛けはしているところである。
- 時代の流れによる生活様式の変化や性の多様性にも対応でき、快適な学校生活を送れる制服のあり方を再検討することを強く要望するが。
- 教育委員会としても子どもの人権を守るために提案していきたい。
- 3期12年を振り返り町民へのメッセージはあるか。
- 一番大切にしてほしいのは一度外に出た子どもがまた戻ってきて開成町に住んでくれるような継続的なつながりがある町を望んでいる。

ささき のぼる
佐々木 昇

第六次開成町総合計画の
策定に向けて

自治 協働



- 次期計画の策定に当たり、どのような形で町民の参画を得る考えか。
- 令和5年度に町民意識調査の実施とテーマ別のワークショップの開催を予定している。令和6年度に基本計画素案への意見を求めるため町民集会の実施を予定している。パブリックコメントについては、骨子案、素案、それぞれに対し実施を予定している。
- 目まぐるしく状況が変わっていく時代の中で、総合計画の12年という期間は少し長く感じるが。
- それについては現在、内部でも検討中である。

たけい まさひろ
武井 正広

町内の空き家、空き地の現状と
対策について問う

都市機能 景観



- 空き家問題は日本全体でも大きな課題である。一体的に対応するために本町でも「空き家等対策計画」をつくる必要があるのではないか。
- 空き家の増加状況をしっかりと注視しながら検討はしていきたい。
- 空き家の利活用の一つとして移住促進のお試し住宅はどうか。
- 本町を知っていただくということで空き家バンクの中で所有者とマッチング出来ればお試し住宅という取り組みも考えていく。
- 遊休農地等も含めた空き地の雑草等の除草に関する条例をつくる考えは。
- 改善されない状況が目立ってくれば必要になるが、現状では必要ない。

まえだ
前田 せつよ

带状疱疹のワクチン接種に
公費助成を

健康 福祉



- 带状疱疹ワクチンを国の臨時交付金で助成をした自治体もあるが。
- 交付金を使い終え、その後を加味しなければならないと考える。带状疱疹ワクチン接種の金額は5万円近いので、定期接種化に向けて、無料とすることで押し進めた方が得策と考える。
- 4月26日から新町長のもと町行政が動く。そこで副町長に問う。
- 実施の方向で考えたい。先ほど、令和6年という答弁もあったが、緊急を要する場合には、令和5年度の補正予算で対応する可能性もあることを、次期町長には伝達していきたいと考える。

ほしの よういち
星野 洋一

ひとり親家庭の支援強化策を

子育て 教育



- 自立促進や疾病等、また家事サービス等のひとり親家庭等日常生活支援事業の充実政策の強化を。
- 小田原保健福祉事務所足柄上センターが窓口となり、町に生活支援等に関する相談があった場合は庁内で検討し、センター等へつないでいる。
- ひとり親家庭等に対する相談支援の充実を。
- 町では子ども家庭総合支援拠点を子育て健康課に設置をし、子ども家庭支援員を配置している。今後も情報共有を努めるとともに、関係機関と連携しながら相談者に寄り添って問題解決に取り組んでいく。

やまもと けんいち
山本 研一

どうなった？ 答弁のその後
(その2)

自治 協働



- 大規模災害発生時、全町民が避難の場合の計画は。
- 富士山火山防災対策協議会において、令和5年3月末の改訂に向けて現在作業を進めている。富士山火山避難計画の公表に合わせて、開成町富士山火山避難計画を策定する予定となっている。
- 前回の答弁の中で「水害は水害として想定して避難の仕方を考えなくてはいけない」と言われたが、水害を想定して全町とはいわないまでも、開成町の多くの人々が避難しなくてはならない状態での町長の考えは。
- 全町避難を水害時においての計画の中で今考えていることはない。



令和4年度 全国町村議会特別表彰を受賞
開成町議会は、全国町村議会議長会から「政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会」及び「住民に開かれた議会」として、他の範とするに足る活動を行っているとして認められ、令和5年2月8日に、令和4年度全国町村議会議長会町村議会表彰の、最上位である「町村議会特別表彰」を受賞しました。



町内のみなさまには、(し尿・浄化槽清掃・ごみ収集等)で大変お世話になっています
当社では、この町をきれいにし次世代の子にやさしい環境づくりに努力していきます

(有)共和衛生工業

開成町本社 開成町延沢642 TEL.82-0030 FAX.83-1030
中井町支店 中井町遠藤240-26 TEL.83-4430 FAX.83-1030
山北出張所 山北町山北1355-3 TEL.76-4436 FAX.83-1030



足柄上法律事務所

神奈川県弁護士会所属 弁護士 笠間 圭一郎

相続・遺言・離婚・交通事故・債務整理
○一般民事・刑事・その他

牛島50-4 202号 ☎44-4895 足柄上法律事務所 検索



植物インクと再生紙を
使用しています。

発行：開成町議会
編集：広報広聴常任委員会(広報分科会)

【議会事務局】電話：0465(84)0323・FAX:0465(20)5272
ウェブサイトアドレス：https://kaiseigikai.kanagawa.jp
メールアドレス：gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp